

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果の分析及び活用について

学校名

伊勢原市立伊勢原中学校

1 調査結果の分析及び考察

	特長	課題
A問題	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明的な文章の読解において文章の構成や展開をとらえたり、表現の特徴について気づいたりすることができている。 ・語句の意味を理解し、文脈や場面を考えて適切に使用することが概ねできている。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎的な文字の四則計算や図形については相当数の生徒ができている。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文脈に即し、熟語の意味を理解して、正しく漢字を書くこと。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数量の関係を捉え、その関係を文字式にすることや基本的な作図をすること ・比例、反比例の関数関係を見いだし表現したり考察すること。
B問題	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学的文章において登場人物の言動から心情をとらえ、内容を理解することができている。 ・目的に応じて必要な情報を読みとり集めた情報を整理して活用することができている。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられた情報から必要な情報を適切に選択し、処理することができる。 	<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章を読み、必要な情報に着目しながら、条件を満たして自分の考えを書くこと。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料やグラフなどを適切に読みとり、それを数学的に解釈して問題を解決する方法を考え説明すること。
質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・数学の授業に対して、意欲的に取り組もうとしている生徒が多い。また、数学を好きとしている生徒が多く、できるようになりたいという生徒が多い。 ・基本的な生活習慣が定着している。 ・物事に取り組むときの満足感や自己肯定感を持てる生徒が多い。 ・学校で好きな授業がある生徒が8割を超えている。 ・外国のことに興味を持ったり、将来国際的な仕事に就きたいと思っている生徒の割合が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1日当たり3時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする生徒の割合は25%、テレビゲームや携帯式ゲームや携帯電話・スマートフォンを使ったゲームをする生徒の割合は20%であり、過度な視聴や使用にならないようにすること。 ・地域や社会で起こった問題や出来事に関心が低いこと。

2 ① 授業の充実に向けた重点的な取組

<p>【国語】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な漢字指導において、辞書を用いて語彙を増やす学習活動を今後も進めるとともに、熟語の意味を確認しながら場面や文脈に即して語句を使用できるように指導していく。 ・自分の考えを説得力をもって相手に伝えるためにふさわしい適切な資料を選択し、活用しながら根拠を明確にして文章を書く機会を意識的にとらせ指導していく。 <p>【数学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りにある数学的な事象に関心を持てるようにし、様々な考え方を授業の中で共有し、それを適切に数学的に説明する活動を充実させていく。 ・与えられた表やグラフから必要な情報を読みとり、筋道を立てて考えるように指導をしていく。

2 ② 家庭(地域)への発信内容(協力依頼事項) ※家庭で取り組んでほしい内容や地域の方にとってほしい内容

・起床時間や就寝時間など基本的な生活は定着しています。また、物事に取り組む際の満足感や自己肯定感の高い生徒が多く、落ち着いた行動と豊かな心が身についているといえます。

・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1日当たりの2時間以上使用する生徒が約4割います。多くのご家庭でスマートフォンや携帯電話等を使用する際のルールについて話し合っているようですが、過度な使用にならないように、再度ご家庭で確認し、話し合ってください。